

学びの成果の発表と知識を深める二日間

旭 市生涯学習フェスティバルが11月15日、16日の二日間にわたって開催。会場となった東総文化会館のロビーには和紙人形や御殿まりなどの作品が並びました。太極拳やダンスなどの発表が大ホールで行われた15日、小ホールでは意見発表大会が開催され、小学生から社会人まで13人が、自分の思いや将来の夢などを発表していました。また16日の文化講演会では、旭市出身で、JAXA航空本部飛行技術研究センターの医長を務める嶋田和人さんが「2020年未知なる宇宙へ行こう！～宇宙ステーションでの暮らしと健康～」をテーマに講演。耳を傾ける来場者たちの姿がありました。

- ①太極拳のステージ発表
- ②講演を行う嶋田和人さん
- ③意見発表後、あさぴーと一緒に記念撮影



10/19 みんなで考えるまちづくり



質問や提案が寄せられる(中央小)

参加者たちからは旭中央病院や旧食彩の宿いのおか荘、施設の利用料などに関する質問や意見が出されていました。

市長が地域に出向き、市民とまちづくりを話し合う地区懇談会が、10月19日から市内6か所で開催。「旭市国土強靱化地域計画」「公共施設白書」などの説明が行われたほか、

10/28 看護職への誓いを胸に医療現場へ



ともる明かりに誓う学生

もらうとキャンドルを手に、看護職に身をささげることがを誓う「ナイチンゲール誓詞」を唱和していました。

旭中央病院附属看護専門学校戴帽式が行われました。戴帽式は、医療現場での本格的な実習が始まる学生たちに、ナースキャップを授ける儀式。学生たちはキャップをかぶせて

第6回向太陽杯パークゴルフ大会

パークゴルフと旭の食で交流図る



ナイスショット！ ボールの行方を追う参加者

パークゴルフを通して交流を図るとともに、市の特産品などをPRしようと10月22日と23日の二日間にわたり、あさひパークゴルフ場で開催された向太陽杯パークゴルフ大会。市内のほか全国各地から訪れた157人の参加者たちは、小雨の降る中、腕を競い合いました。また昼食には旭の食材を用いたチャーシューメンやカレーライスなどが登場。「おいしい」と口にする姿がありました。

大会は、男子の部で中西精一さん(二)、女子の部で中島幸子さん(船橋市)が優勝に輝きました。

叙勲受章者

瑞宝双光章

[第23回危険業務従事者叙勲]

(消防功労)

菅谷衛一さん 65歳(溝原)



昭和46年に旭市外三町消防組合消防士を拝命して以来、39年余にわたり、消防職や団員の指導育成と資質の向上に尽力されました。平成20年に旭市消防本部消防長となり、近代消防体制の確立と強化に貢献されました。

瑞宝単光章

[秋の叙勲]

(看護業務功労)

伊藤萬里子さん 67歳(ハ)



昭和44年に総合病院国保旭中央病院に奉職して以来、38年余にわたり、看護師として医療福祉や看護技術の向上に尽力されました。この間、小児科病棟開設や院内ボランティアの導入、緩和ケア病棟開設などに取り組み、病院の拡充に大きく貢献されました。

瑞宝双光章

[第23回危険業務従事者叙勲]

(消防功労)

岩井治一さん 66歳(ニ)



昭和43年に旭市消防本部消防士を拝命して以来、40年余にわたり、消防職や団員の指導育成と資質の向上に尽力されました。組合消防本部設立後の変革期には、組合組織の充実強化や、消防職と団員との協力体制の礎を築き上げるなど、消防体制の確立に貢献されました。

瑞宝単光章

[第23回危険業務従事者叙勲]

(警察功労)

松村信太郎さん 71歳(高生)



昭和36年に千葉県警察官に奉職して以来、40年余にわたり、職務に精励されました。主に地域安全業務に従事し、犯罪の未然防止と数多くの事件事故の解決のために尽力されました。

瑞宝単光章

[第23回危険業務従事者叙勲]

(防衛功労)

田村則和さん 61歳(鎌数)



昭和47年に陸上自衛隊に入隊して以来、35年余にわたり、下志津駐屯地、市ヶ谷駐屯地などで職務に精励されました。主に高射学校での教育・企画業務や災害派遣業務などに従事し、国民の安全と国土の保全、防衛のために尽力されました。

10
29

中学生が奏でる5色のハーモニー



3年生全員による学年合唱(飯岡中)

希望。合唱やダンスなどのステージ発表が行われ、客席からは大きな声援と拍手が送られていました。

市内5つの中学校の3年生607人が参加して、旭市中学校合同文化祭が東総文化会館で開催されました。テーマは「奏でよう、5色のハーモニー 届けよう未来へ、僕らの希望」。

10
29

3Rを呼び掛けて全国入賞



賞状を手にする加瀬いづきさん

全国から作品が寄せられる「3R促進ポスターコンクール」で、中央小の加瀬いづきさん(4年)の作品が、佳作に選ばれました。3Rとはごみの発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)のこと。加瀬さんは「ごみのリサイクルが進むといいです」などと話していました。

11/3 はっけよい！ 伝統の相撲を奉納



まわし姿で相撲をとる子どもたち

袋区にある太田神社の秋季例大祭で、黒虎相撲が奉納されました。黒虎相撲は1780年、神社の大鳥居の落成記念に、江戸から力士を招いて相撲を奉納したのが始まり。この日は氏子衆や見物客を前に、地元子ども会の取組や青年団による土俵入りなどが披露されていました。

11/5 子どもたちが織り成す音色響く



タクトを見つめて演奏(富浦小)

東総文化会館に市内15の小学校が一堂に会し、旭市小学校音楽会が開催されました。学校を代表する児童たちは、金管楽器や打楽器などによる合奏、仲間たちとの合唱を披露。ホールには奏でる音色や歌声が響き、訪れた人たちのリズムを取ったり、拍手を送ったりする姿がありました。

11/7 夫婦となって50年 共に助け合い支え合い



晴れの日を笑顔で

結婚50周年を祝う旭市合同金婚式が11月7日に開かれ、市内50組の夫婦100人が出席しました。式では、来賓からの祝いの言葉や記念品が贈られました。出席した夫婦の1組は「あっという間の50年。互いに助け合いながらやってこられた。今は、支えていただいた人たちへの感謝でいっぱいです」と話していました。

11/9 旭の産品などに来場者の笑顔



並んだ品を手に笑顔

「いきいき旭・産業まつり」と「ふるさとまつり・ひかた」が、旭市文化の杜公園で合同開催され、62,000人が訪れました。会場内は、県下トップクラスの産出額の旭市農産物をはじめ、出店者の「自慢の品々」がずらり。買い物袋を片手に、笑顔の家族の姿などがありました。

ヴィレッジみんなのデザインコンテスト

子どもたちの「地元愛」で魅力発信



コースターとなった入賞5作品

市内小学生から旭市のエンブレムデザインを募集。約1,300点の中から入賞した5作品の表彰式が、11月3日に袋公園で開催されたVILLAGEで行われました。

コンテストは、子どもたちの「地元愛」を育もうと、若手生産者や経営者たちが「今やりたいこと」を提案していくVILLAGEの企画。入賞5作品は「旭の魅力発信に」とコースターになり、VILLAGEに参加する飲食店で使用されるそうです。

旭市道の駅建設工事起工式

安全祈願し、道の駅建設始まる



関係者を前に「鍬入の儀」が行われる

平成27年秋のオープンが予定される、道の駅の建設工事が着工。11月16日、建設地(イ地先・旭中央病院アクセス道路沿い)で起工式が行われました。式典には市長や市議会議員、発起人会、建設準備委員会などが出席。工事の安全などを祈願していました。

なお道の駅の整備面積は1.55ha。道路利用者の休憩施設として駐車場やトイレをはじめ、直売施設、バイキングレストランなどの整備が予定されています。